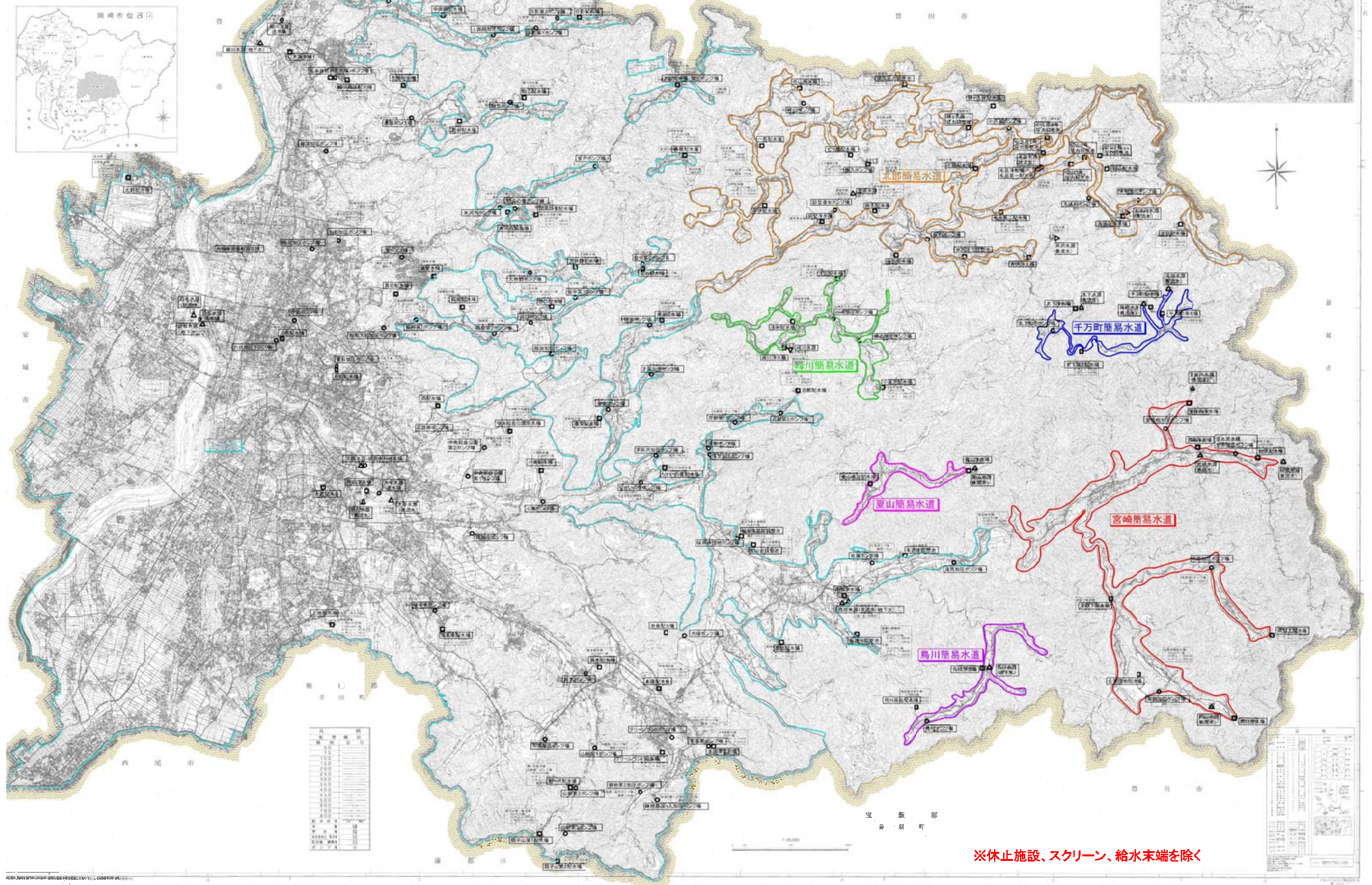


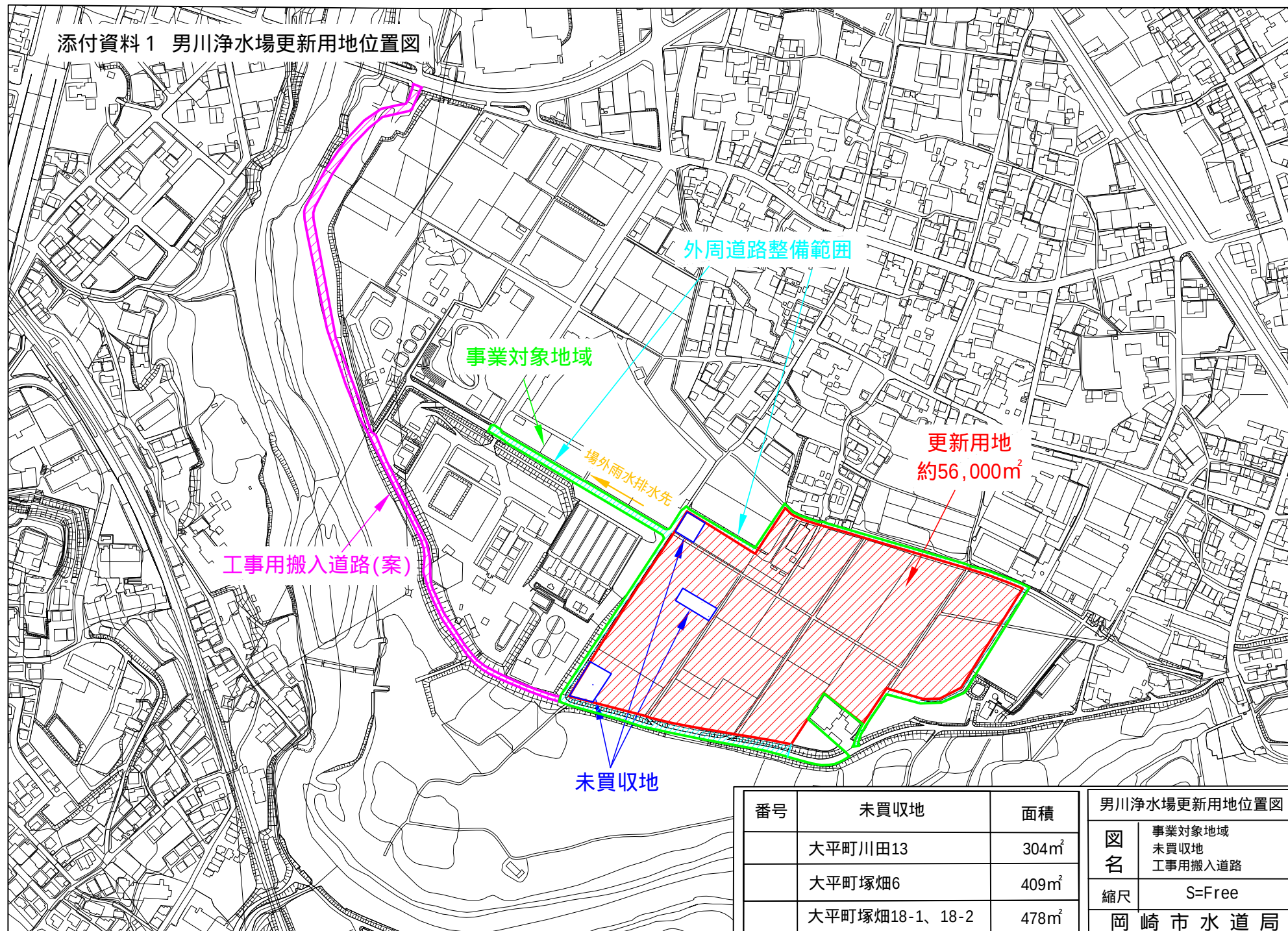
要求水準書 添付資料一覧

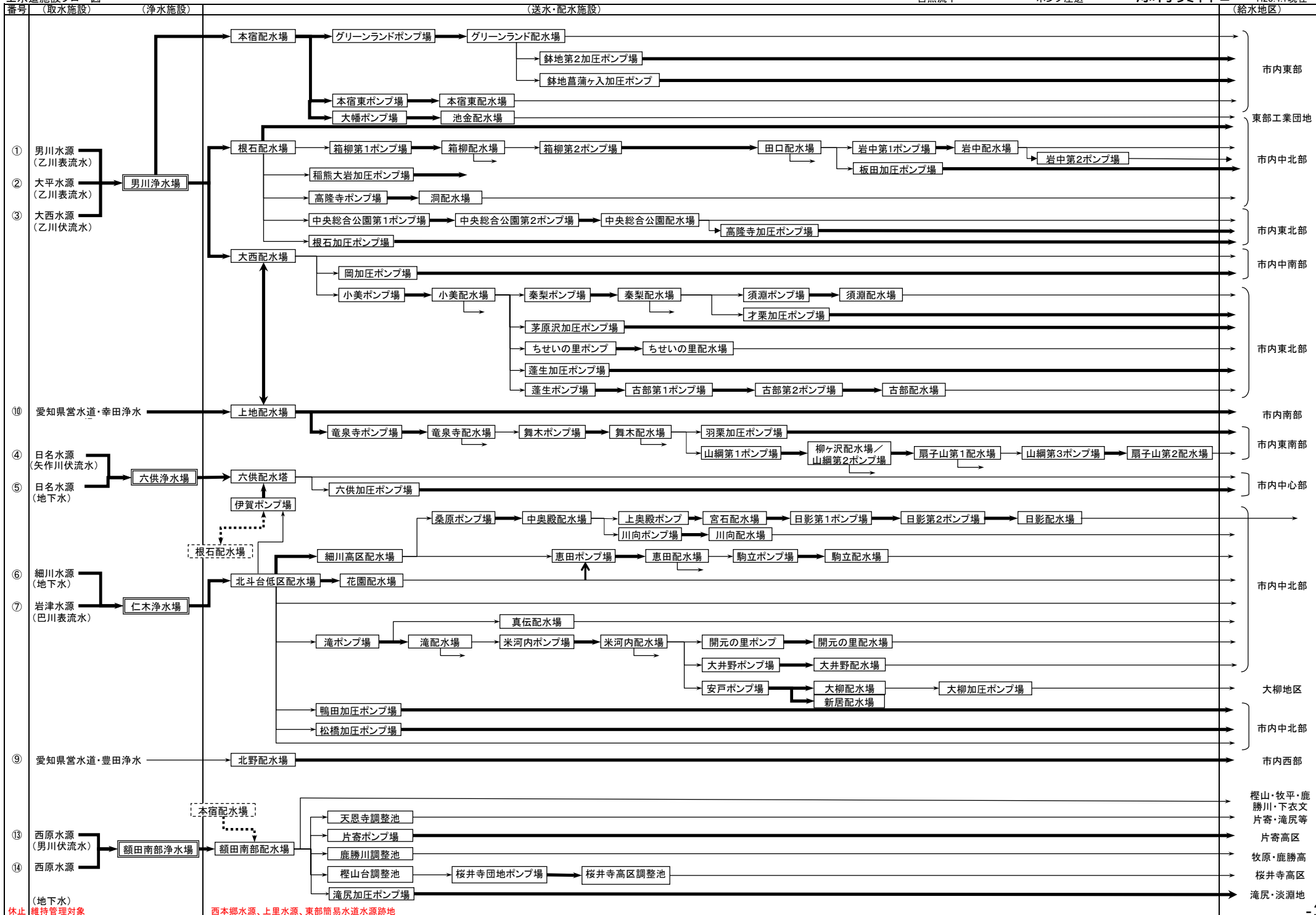
- 1 添付資料 1 : 施設位置図、男川更新用地位置図 P.1
- 2 添付資料 2 : 施設フロー図 P.3
- 3 添付資料 3 : 配置平面図案及び水位高低 P.6
- 4 添付資料 4 : 地質調査結果、ボーリング柱状図 P.9
- 5 添付資料 5 : 新設男川浄水場負荷案集計表 P.26
- 6 添付資料 6 : 取水場位置図 P.27
- 7 添付資料 7 : 管理棟平面図案 P.28
- 8 添付資料 8 : 必要諸室の仕様及び備品 P.31
- 9 添付資料 9 : 過去 5 年間の水質データ (原水) P.32
- 10 添付資料 10 : 場外施設等の点検頻度と点検内容 P.68
- 11 添付資料 11 : 計装監視対象施設一覧 P.71
- 12 添付資料 12 : 男川浄水場廻り既設導水・送水・配水管ルート図 . . P.73
- 13 添付資料 13 : 男川浄水場廻り既設污水配管ルート図 P.77
- 14 添付資料 14 : ユーティリティー分担表 P.80

添付資料1 施設位置図



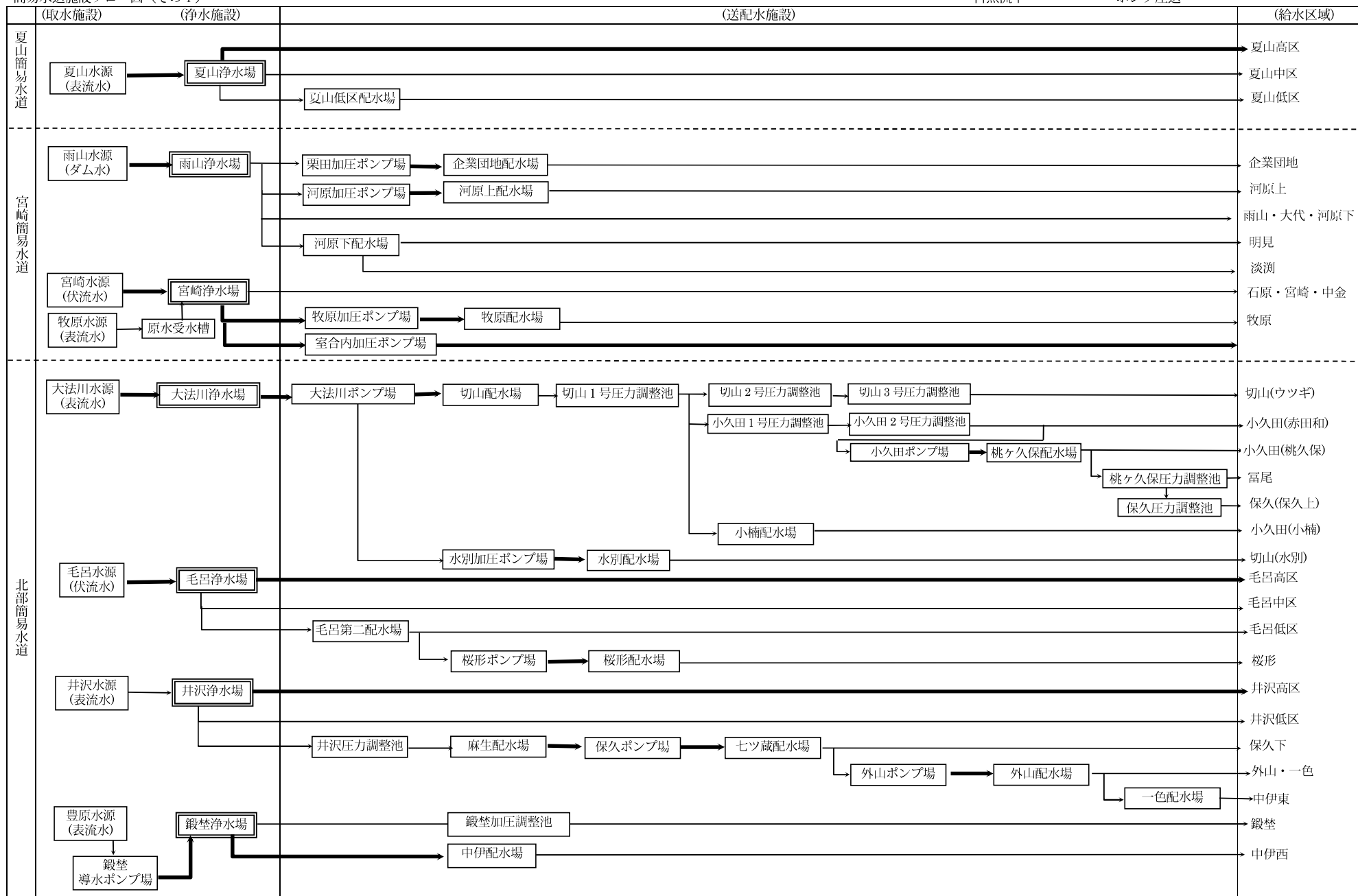
添付資料1 男川浄水場更新用地位置図





簡易水道施設フロー図（その1）

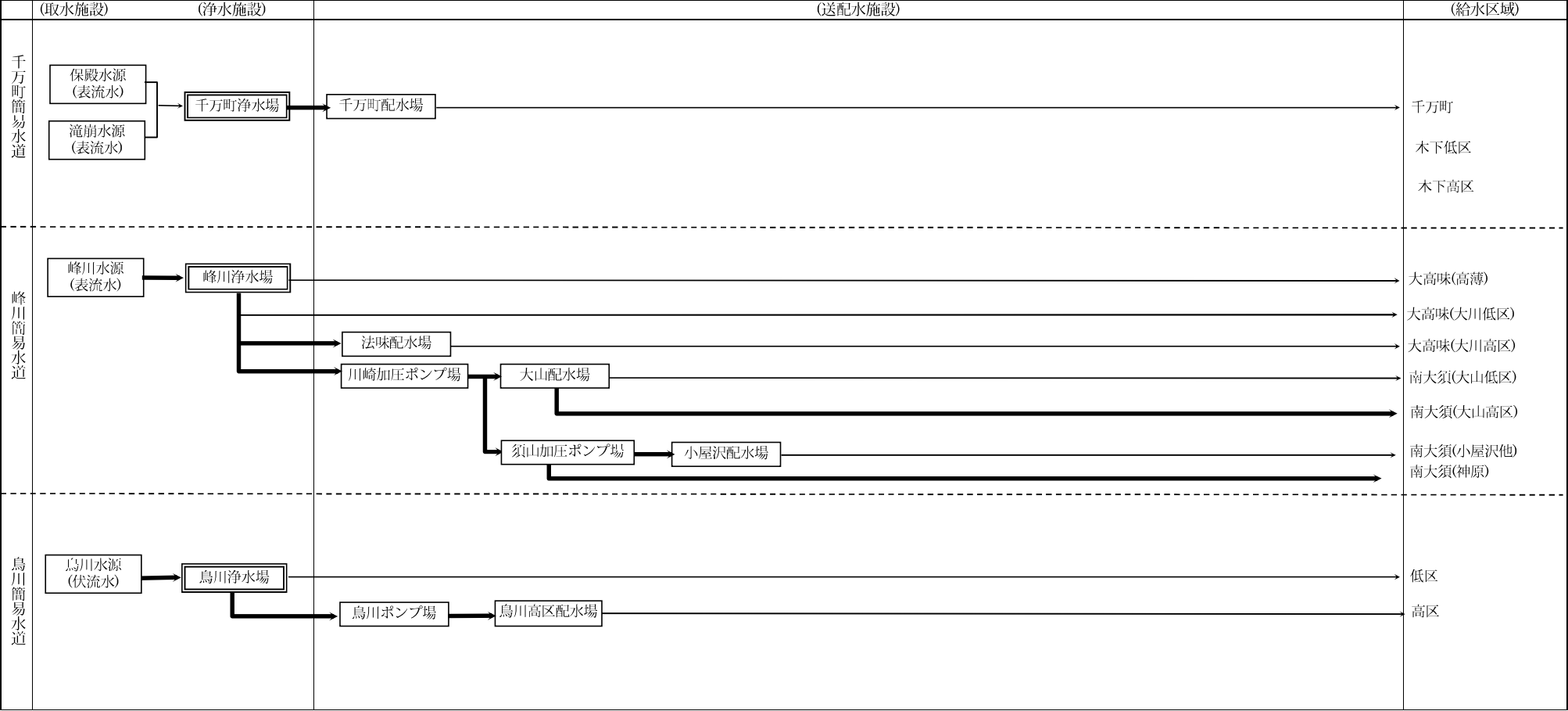
——— 自然流下 ——— ポンプ圧送



休止 明見配水場、室合内浄水場、保久浄水場

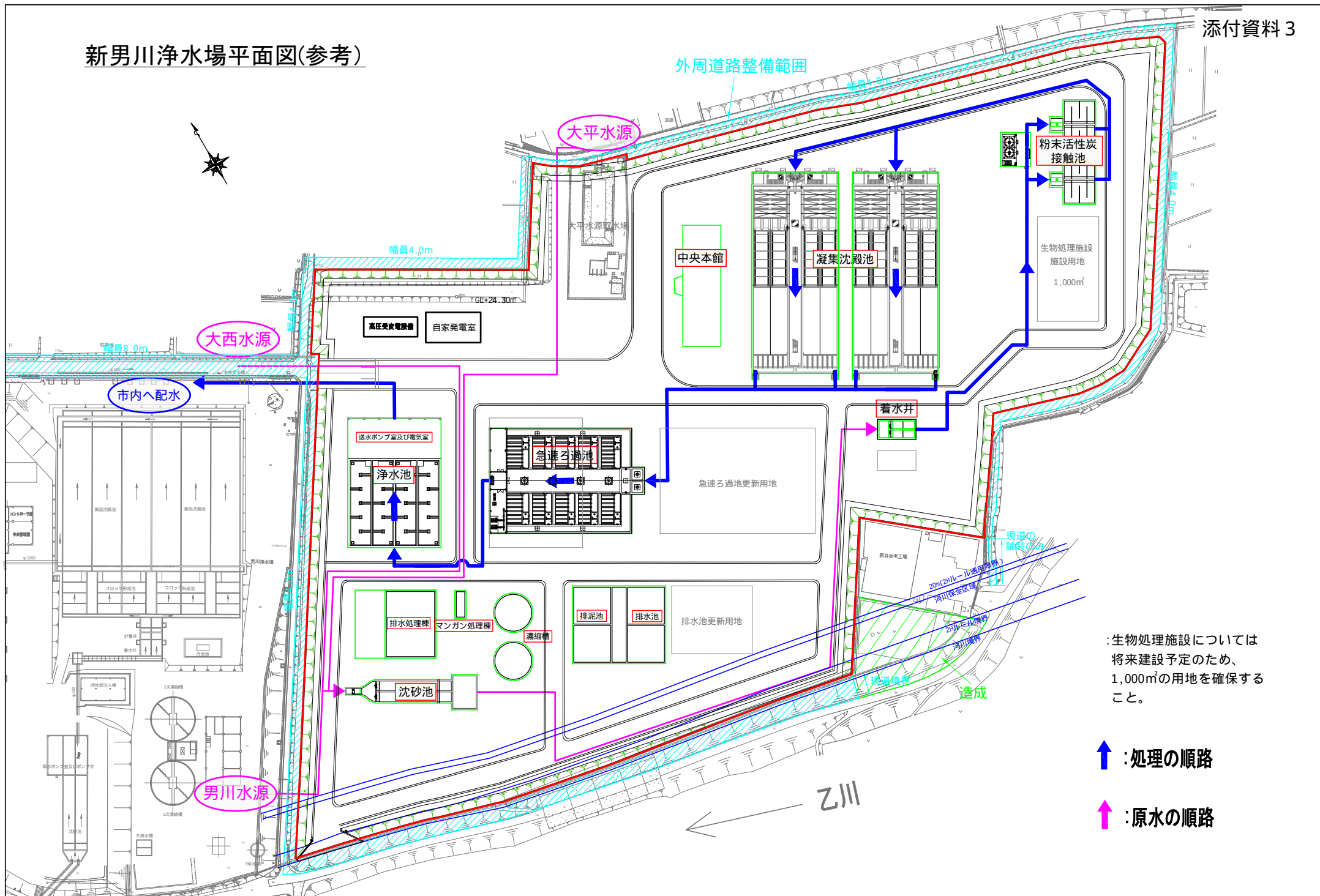
簡易水道施設フロー図（その2）

——— 自然流下 ——— ポンプ圧送



休止 木下第2配水場、木下加圧ポンプ場、木下配水場

新男川浄水場平面図(参考)

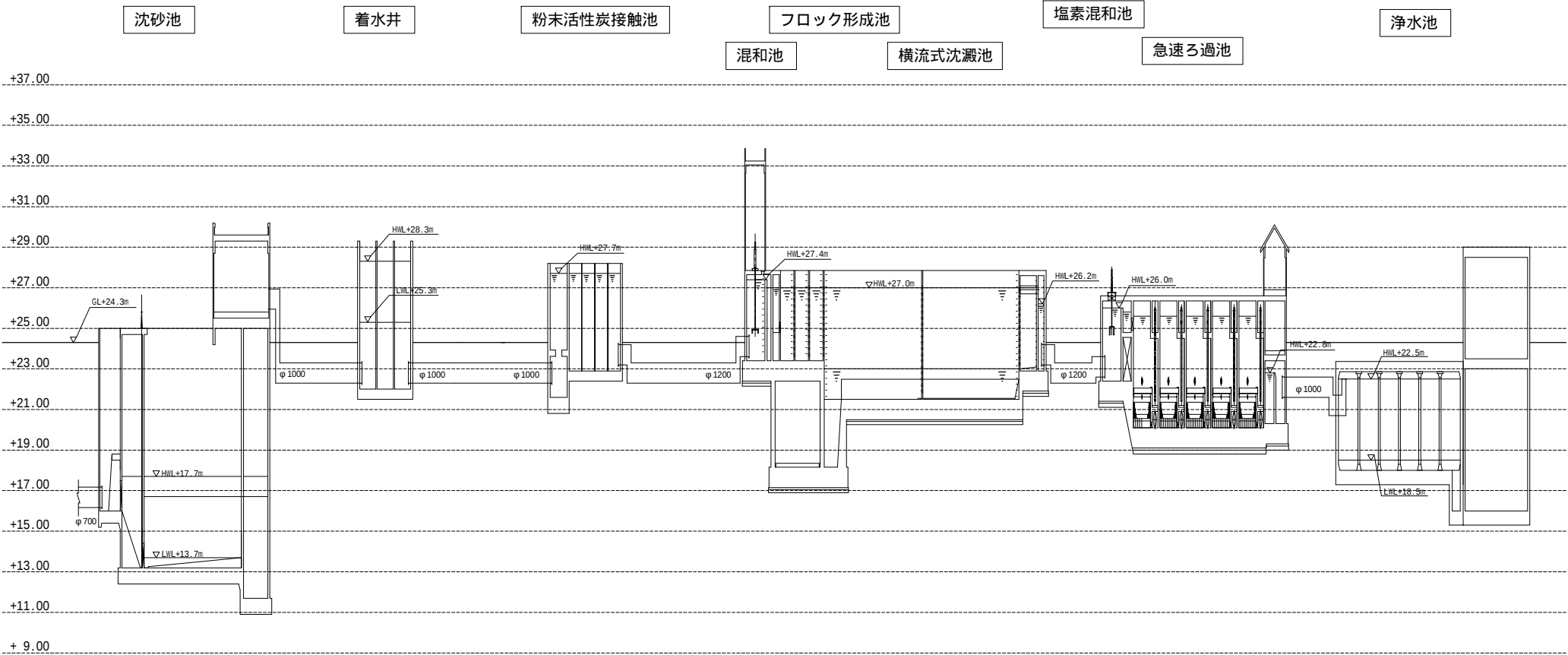


:生物処理施設については
将来建設予定のため、
1,000㎡の用地を確保する
こと。

↑:処理の順序

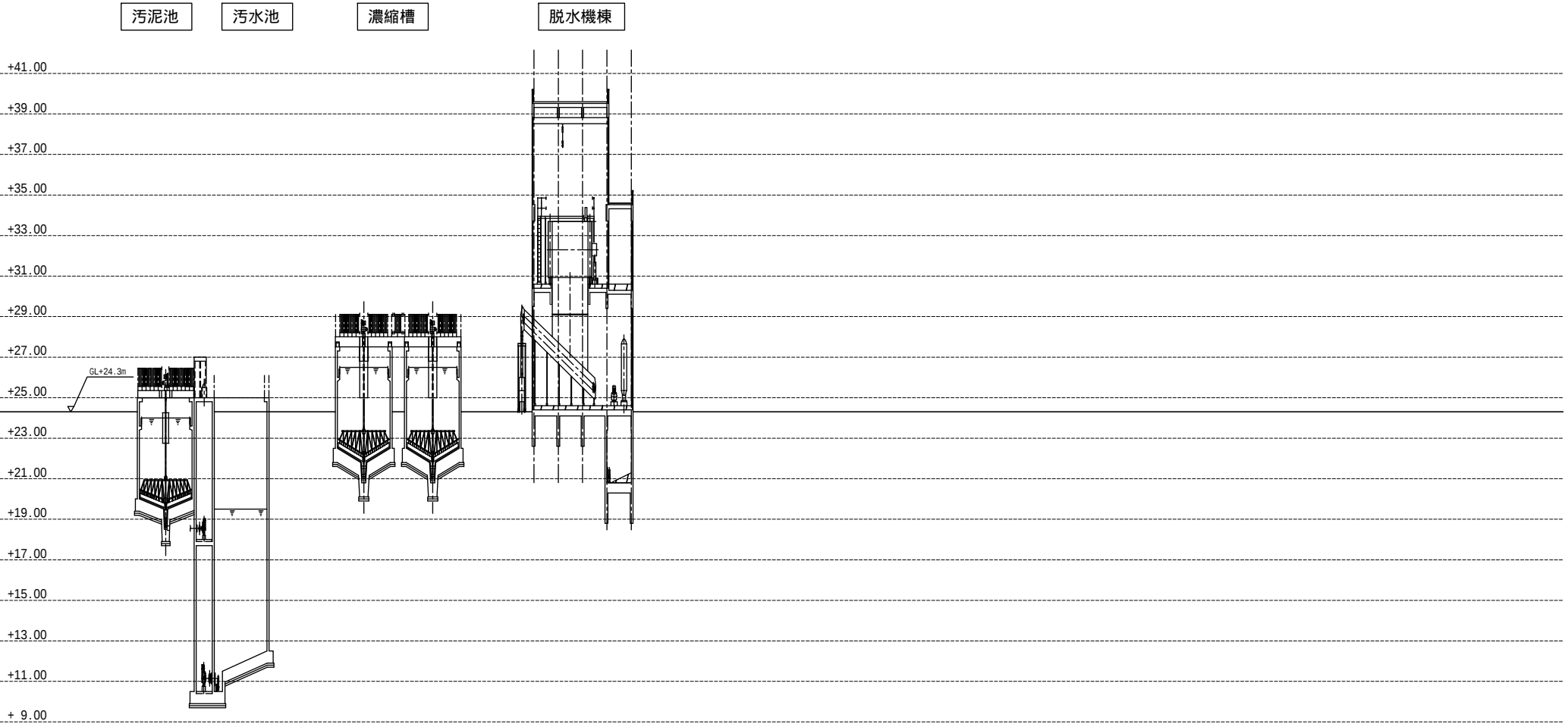
↑:原水の順序

水位高低図
V=1:100
H=1:500



男川浄水場更新工事				
図名	水位高低図			
起工番号		縮尺	V=1/100 H=1/500	
図面番号		製図年月日		
岡 崎 市 水 道 局				

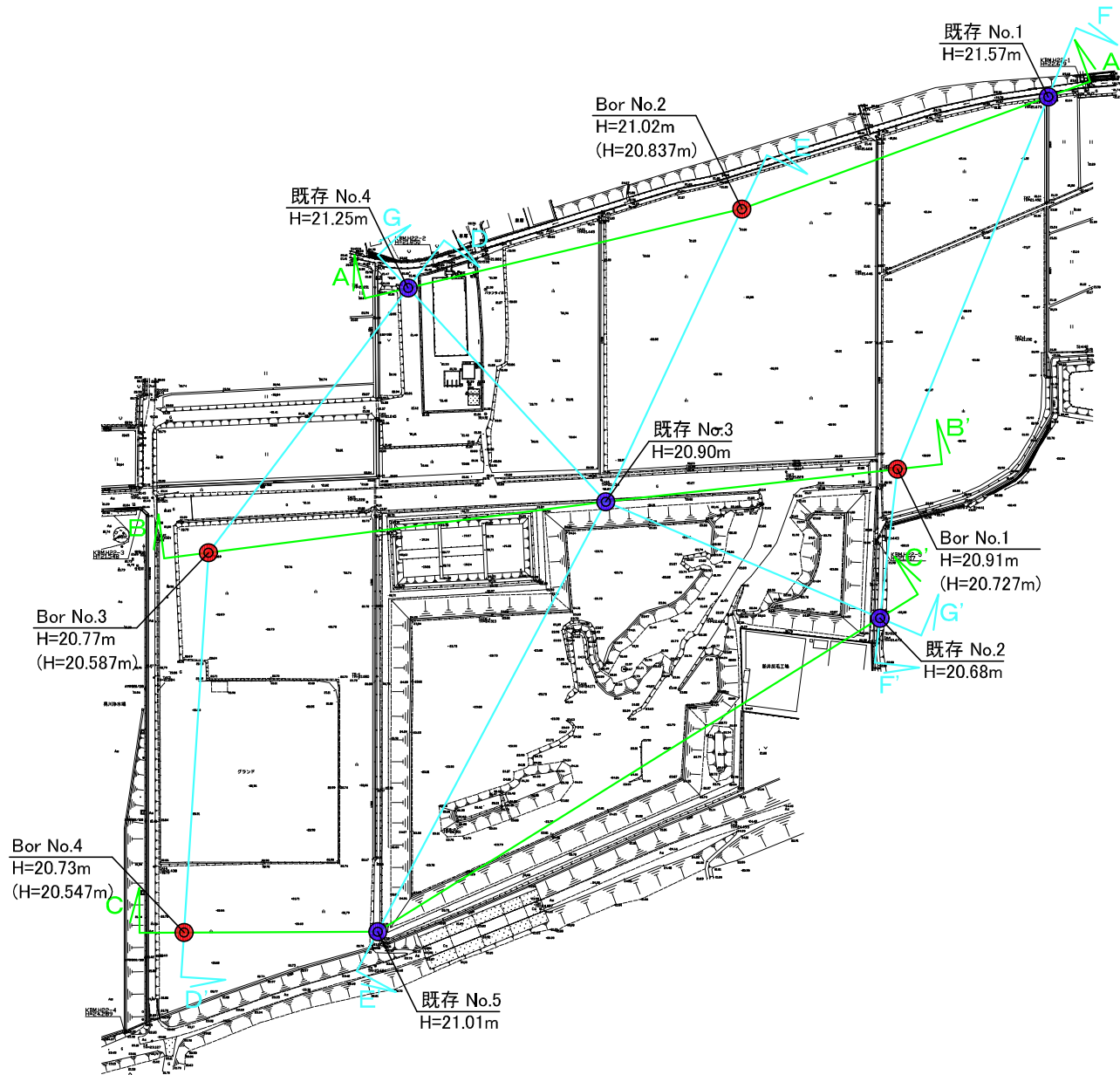
水位高低図 V=1:100
H=1:500



男川浄水場更新工事			
図 名	水位高低図		
起工番号		縮 尺	V=1/100 H=1/500
図面番号		製図年月日	
岡 崎 市 水 道 局			

断面線図

Scale: 1/1,500



凡 例

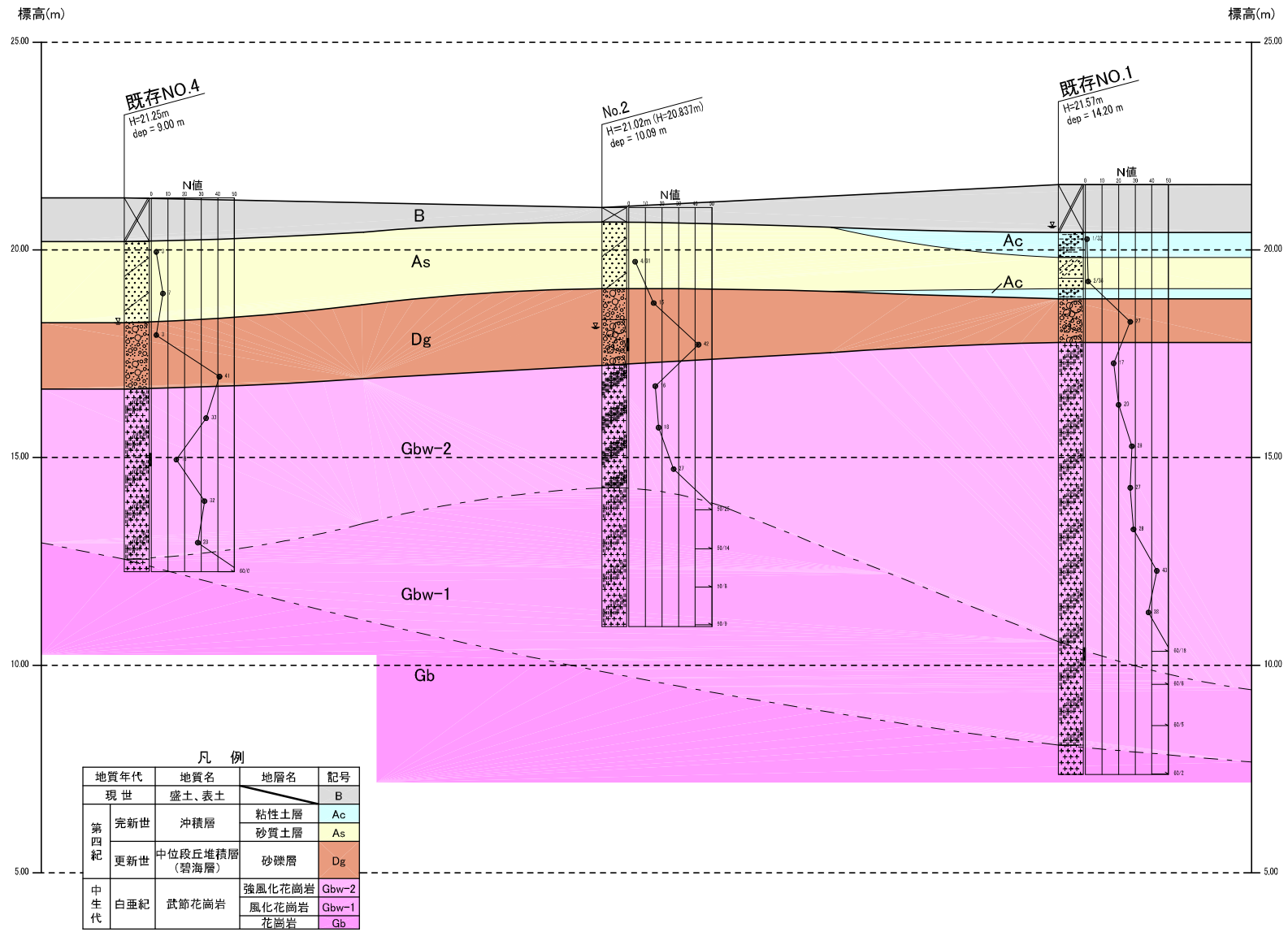
- : 今回ボーリング位置
- : 既存ボーリング位置
- : 断面線

※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

A-A'断面



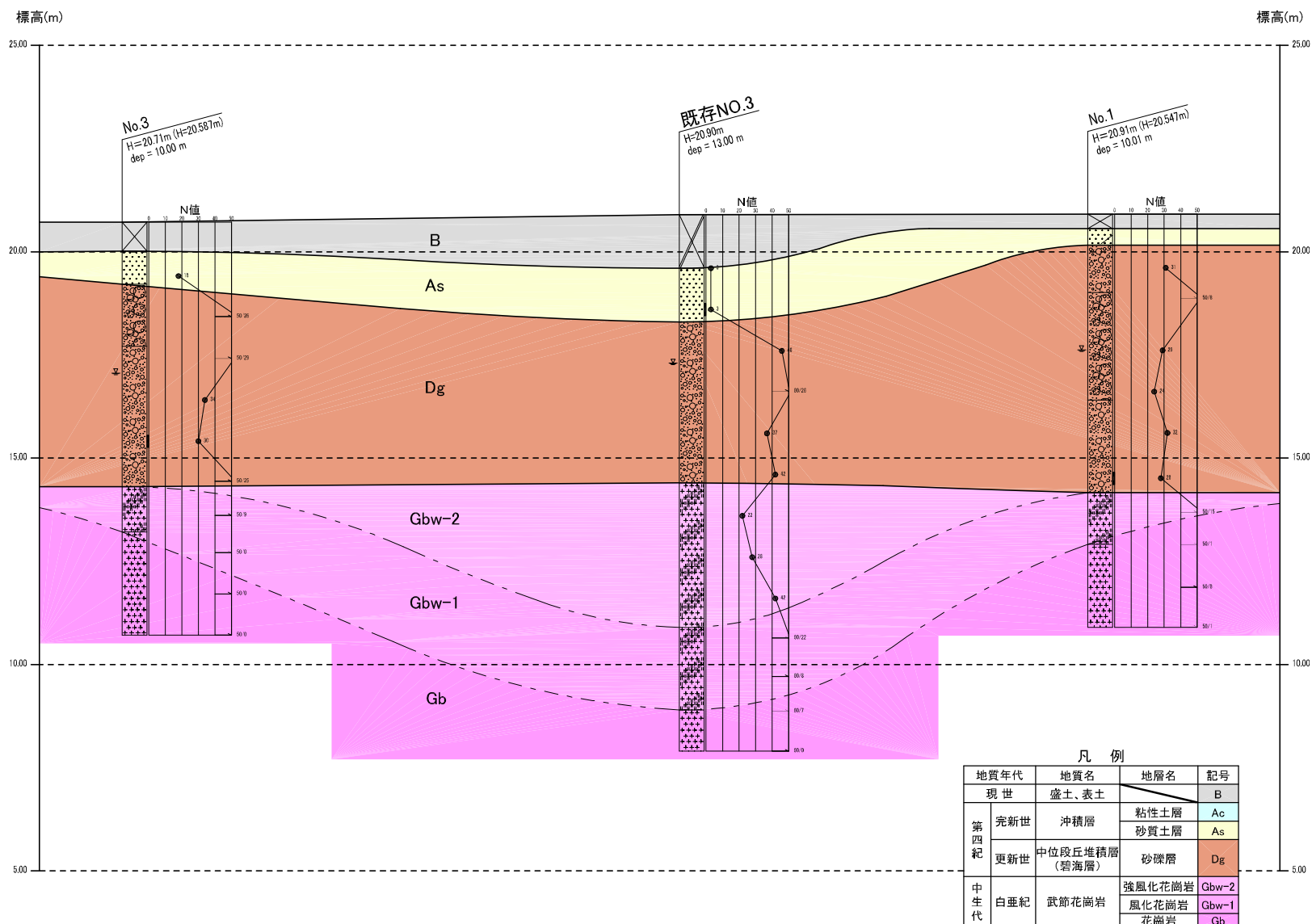
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

B-B'断面



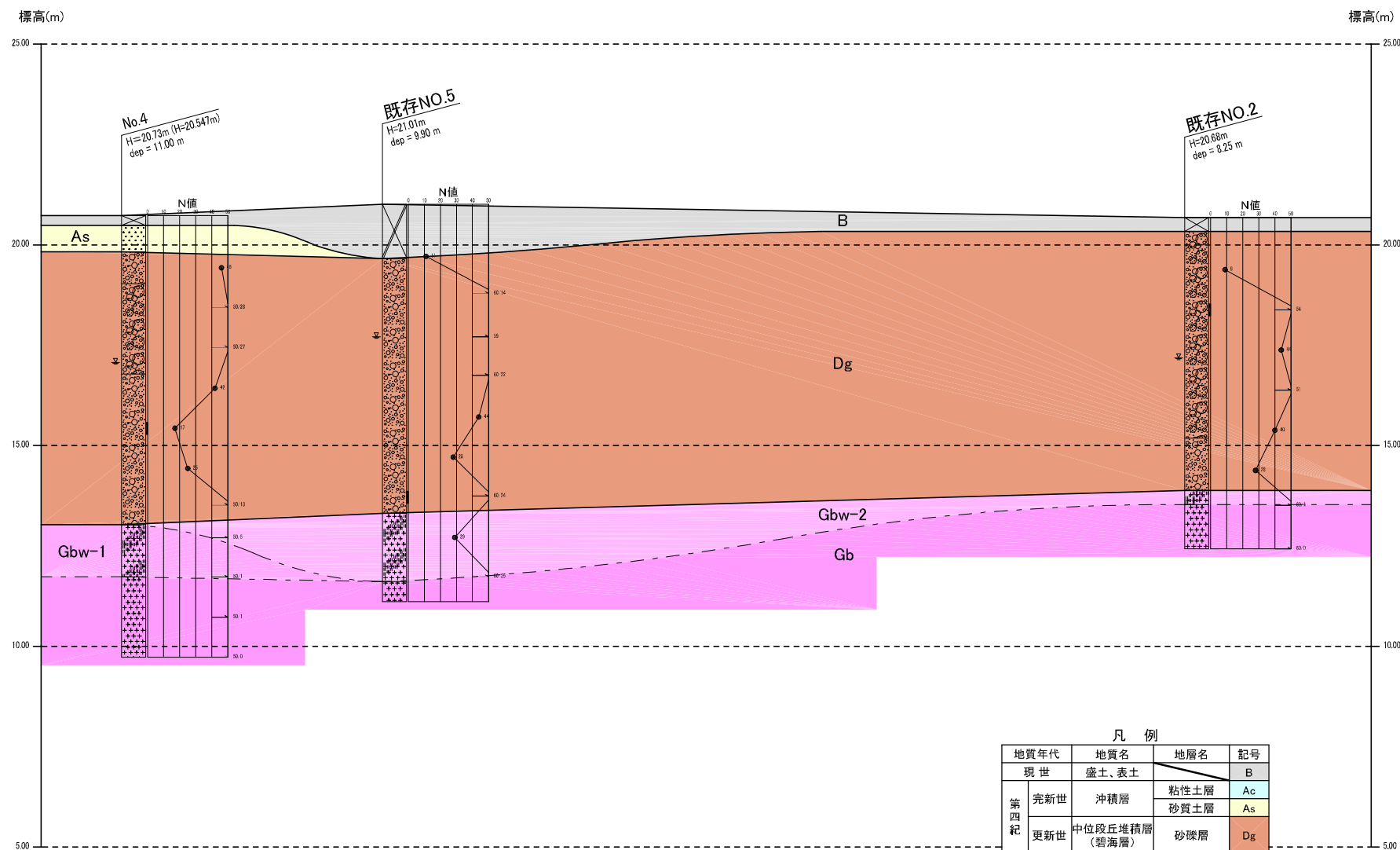
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

C-C'断面



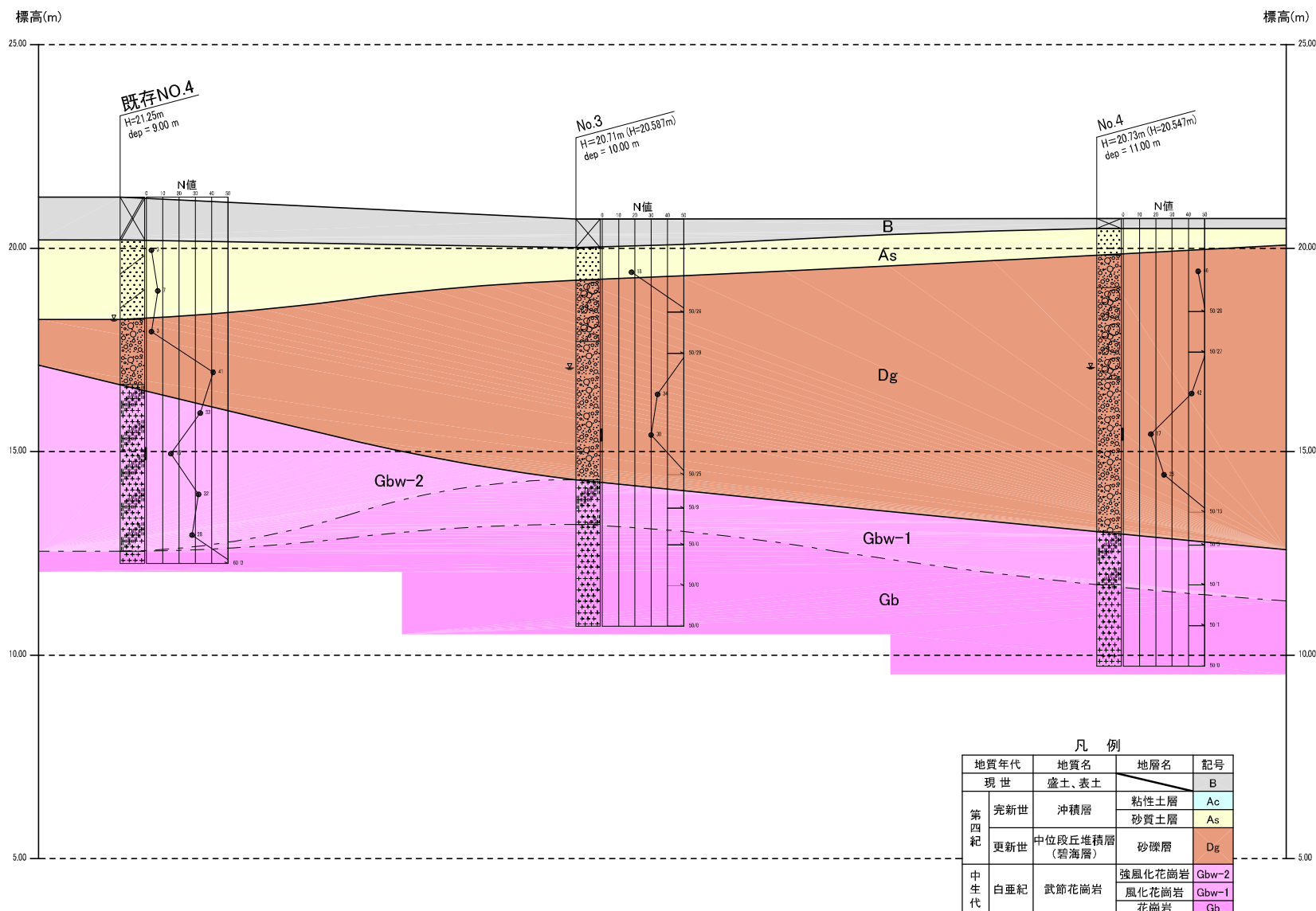
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

D-D'断面



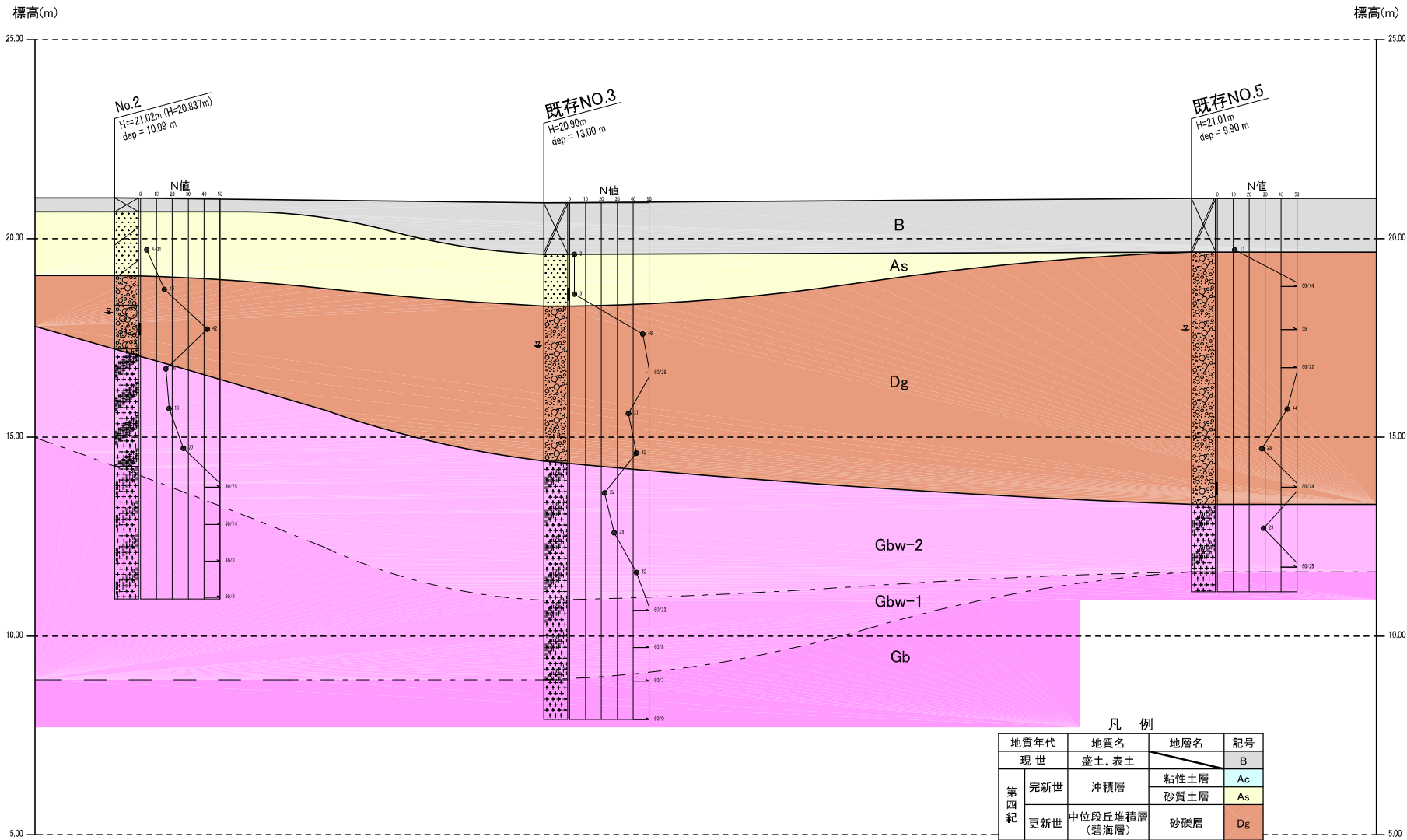
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

E-E'断面



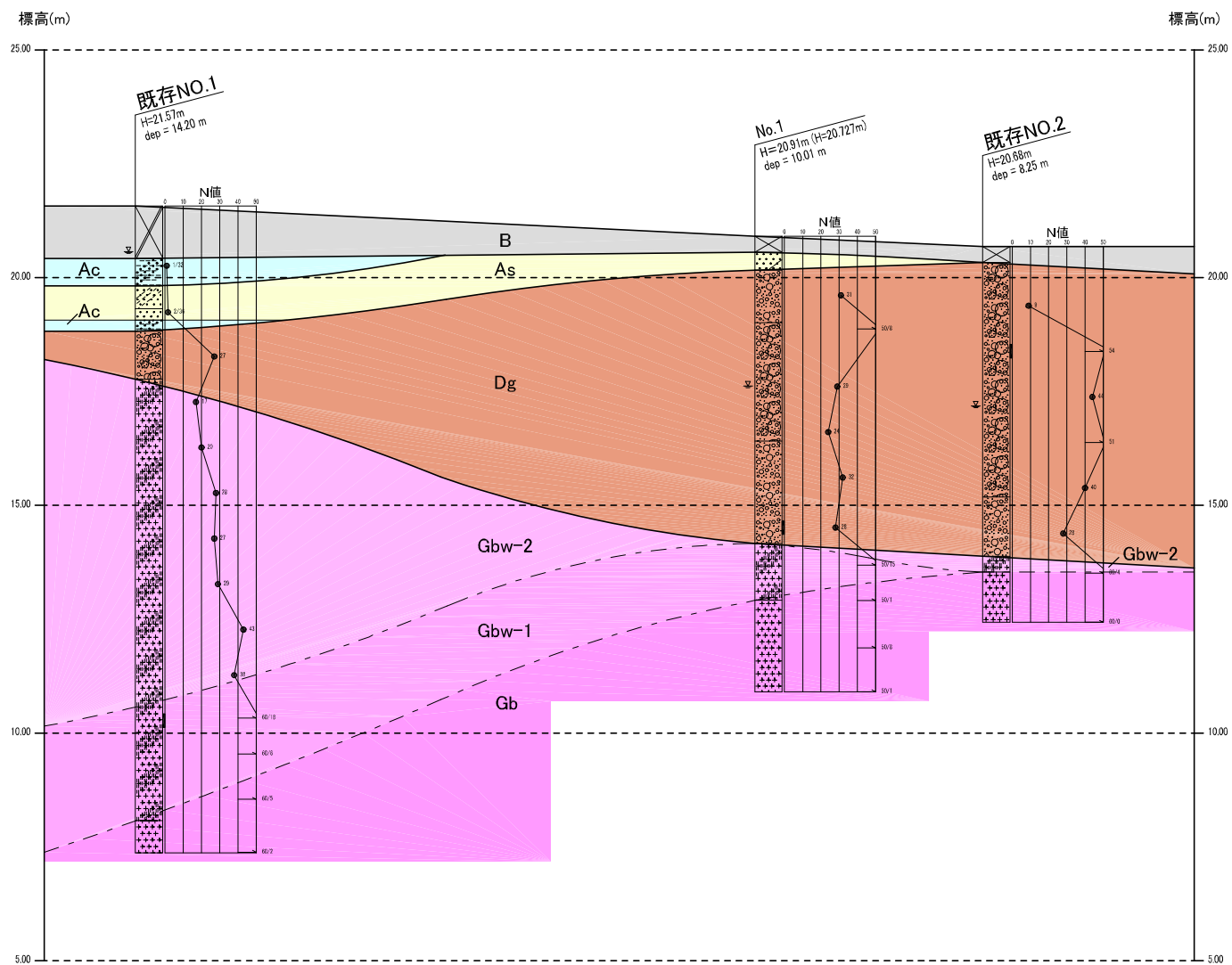
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

F-F'断面



凡 例

地質年代	地質名	地層名	記号
現 世	盛土、表土		B
第四紀	完新世	粘性土層	Ac
		砂質土層	As
	更新世	中位段丘堆積層 (碧海層)	Dg
中生代	白亜紀	強風化花崗岩	Gbw-2
		風化花崗岩	Gbw-1
		花崗岩	Gb

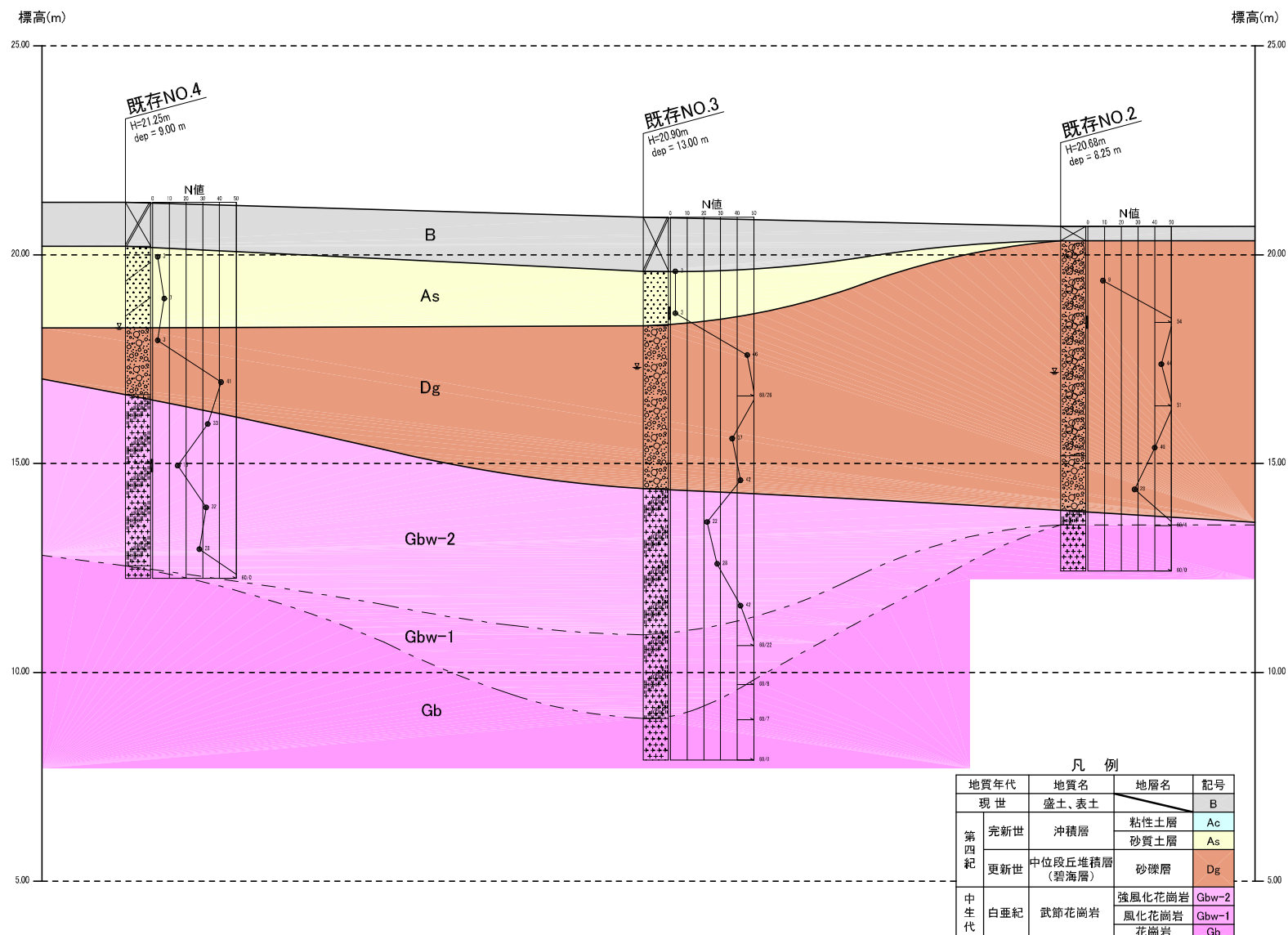
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

G-G'断面



ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

ボーリング柱状図

調 査 名 男川浄水場更新基本設計業務委託

[illegible]

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	No. 1	調査位置	岡崎市大平町地内						北緯	34° 56' 6.1"	
発注機関	岡崎市水道局			調査期間	平成 22年 10月 20日 ~ 22年 10月 22日				東経	137° 11' 30"	
調査業者名				主任技師					ボーリング責任者		
現代代理人				コ	ア			鑑定者			
試錐機	YBM-05			ハンマー落下用具		半自動落下装置					
エンジン	ヤンマーNFD-9			ポンプ		GP-5					
孔口標高	H=20.91m (H=20.727m)			角	180° 上 下 度				方	北 0° 西 270° 南 180° 東 90°	
総掘進長	10.01m			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種				

標尺	層高	深度	柱状	土質区分	色相	相對密度	相對稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深 度 (m)	採取方法 番号	室内試験 ()
										深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	貫入量 (cm)	N 値						
														0					
1	20.56	0.35	0.35	表土シルト 混り砂	暗褐			農耕土(砂質シルト)よりなる 粒径不均一で細砂～中砂主体		1.15	8	10	13	31					
	20.16	0.40	0.75	砂礫	淡黄灰	中位		礫は、φ=5～3.0mm、φMax=5.0mmの歪円～歪角礫主体 マトリックスは、粗砂		1.45	50			30					
2	19.01	1.15	1.90	砂礫	淡黄灰	中位		礫は、φ=5～3.0mm、φMax=7.0mmの歪円～歪角礫主体 玉石は、L=3～5cmの短柱状コアにて採取される 所々、炭酸鈣を有し、粗砂全体に腐蝕性を有し、GL-3.7m付近より漏水性著しい	10/21 4.55	2.00	8			50					
3				玉石混り砂礫	褐黄灰	非常に密				3.15	10	11	8	29					
4	16.41	2.60	4.50	砂礫	淡黄灰	中位				3.45	9	7	8	24					
5				砂礫	淡黄褐	密		礫は、φ=5～3.0mm、φMax=5.0mmの歪円～歪角礫主体 マトリックスは、粗砂 GL-6m付近、φ=70mm程の大礫混在		4.15	9	7	8	24					
6	14.16	2.25	6.75	砂礫	淡黄褐	密				4.45	8	13	11	32					
7	12.91	1.25	8.00	風化花崗岩	褐			風化作用を受けて採取試料は、砂状を呈す 少量の未風化礫を残存する		5.15	8	13	11	32					
8				花崗岩	淡灰			亀裂が発達し、主に採取コアは、礫状～片状を呈す GL-9.1m以降、一部、短柱状～棒状コアで採取される GL-9m付近、風化がやや進み、礫混り砂状～砂礫状を呈す		5.45	9	8	11	28					
9	10.90	2.01	10.01	花崗岩	淡灰					6.25	9	8	11	28					
10				花崗岩	淡灰					6.55	26	24	5	50					
				花崗岩	淡灰					7.15	50	1		50					
				花崗岩	淡灰					7.30	50	1		50					
				花崗岩	淡灰					8.00	50	1		50					
				花崗岩	淡灰					8.01	50	1		50					
				花崗岩	淡灰					9.00	50	1		50					
				花崗岩	淡灰					9.08	50	1		50					
				花崗岩	淡灰					10.00	50	1		50					
				花崗岩	淡灰					10.01	50	1		50					

※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング柱状図

調 査 名 男川浄水場更新基本設計業務委託

[illegible]

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	No. 2		調査位置		岡崎市大平町地内						北緯		34° 56' 9.27					
発注機関	岡崎市水道局				調査期間		平成 22年 10月 22日 ~ 22年 10月 25日				東経		137° 11' 31.5					
調査業者名				主任技師		現代理人		コ 鑑 定 者		ポ-リング責任者								
孔口標高	H=21.02m (H=20.837m)		角 上 下 180° 90°		方 北 西 東 南 0° 180° 90°		地盤勾配 鉛直 水平 90° 0°		使用機種		試錐機		Y B M - 0.5		ハンマー落下用具		半自動落下装置	
総掘進長	10.09m		度		度		度		エンジン		ヤンマー N F D - 9		ポンプ		G P - 5			

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相対比	相対稠密度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		室内試験(月日)
										深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数／ 貫入量(cm)	N 値	深 度 (m)	試験名 および結果	深 度 (m)	試料 採取 番号	
1	20.67	0.35	0.35		表土	褐		農耕土(砂質シルト)よりなる		1.15 1.45 2.15 2.45	1 2 4 14	2 8 7 15	4 31					
2	19.07	1.60	1.95		シルト 混り砂	褐	非常に 緩い	粒径不均一で細砂〜中砂主体		2.15 2.45	4 14	4 15	7 13					
3	18.32	0.75	2.70		砂礫	褐	中位	礫は、φ=5〜30mm、φMax=50mm主体 マトリックスは、粗砂	10/25 2.45	3.15	14	15	13	42				
4	17.22	1.10	3.80		玉石混り 砂礫	淡黄 灰	密	礫は、φ=5〜30mm、Max=50mmの 垂面〜面角礫主体 玉石は、L=3cm程度の短柱状にて採 取される		3.45 4.15 4.45	14 4	15 5	13 7	42 16				
5					強風化 花崗岩	黄褐 暗褐		固化作用を著しく受けて採取試料 は、粘土質砂〜粘土混り砂状を呈す 少量の未風化礫を残存するが、脆い ものが多い		5.15 5.45	5 6	5 10	8 11	18 27				
6	14.27	2.95	6.75		風化花 崗岩	暗褐 黄褐		風化作用を受けて採取試料は、砂状 〜糜流り砂状を呈す 未風化礫は、φ=2〜20mmで残存 する		6.45 7.15 7.40	18 21	21 11	11 5	50 25				
7					風化花 崗岩	暗褐 黄褐				8.15 8.29	32 50	18 8	4	50 8				
8					風化花 崗岩	暗褐 黄褐				9.10 9.18	50 50	9	50	9				
9	10.93	3.34	10.09		風化花 崗岩	暗褐 黄褐				10.00 10.09	50 50	9	50	9				

※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング柱状図

調 査 名 男川浄水場更新基本設計業務委託

[illegible]

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	No. 3		調査位置		岡崎市大平町地内				北 緯	34° 56' 9.4"									
発 注 機 関	岡 崎 市 水 道 局				調査期間	平成 22年 10月 27日 ~ 22年 10月 28日				東 経	137° 11' 21.5"								
調 査 業 者 名				主任技師				現代 場 代 理 人	コ ア 鑑 定 者	ボーリング 責 任 者									
孔 口 標 高	H=20.77m (H=20.597m)		角 度			方 向			地盤勾配			使用機種	試 錐 機		Y B M - 0 5		ハンマー 落下用具	半自動落下装置	
総掘進長	10.00m											エンジン	ヤンマー N F D - 9		ポン プ	カノ V - 6			

標尺	層高	深度	柱状	土質区分	色相対比	相対密度	相対密	記事	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験				位置試験		試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験()	振進月日
										深さ(m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量(cm)	0	10	20					
															</					

※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング柱状図

調 査 名 男川浄水場更新基本設計業務委託

ボーリングNo.							
----------	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	No. 4	調査位置	岡崎市大平町地内				北緯	34° 56' 6.6
発注機関	岡崎市水道局		調査期間	平成 22年 10月 25日 ~ 22年 10月 27日			東経	137° 11' 19.5
調査業者名			主任技師			現代理人	コ鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	H=20.73m (H=20.547m)		角	180° 上 90° 下 0°		方	270° 北 0° 90° 東 180° 南	
総掘進長	11.00m		度			地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	
			使用機種	試錐機		YBM-05		ハンマー 落下用具
				エンジン		ヤンマーNFD-9		ポンプ
								半自動落下装置
								GP-5

[illegible]

※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング柱状図

調査名 男川原水調整池基本設計業務

ボーリングNo. 27-12-12NT

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	N O . 1		調査位置	愛知県岡崎市大平町 地内		北緯	34°55'56.9"	
発注機関	岡崎市水道局		調査期間	平成10年12月16日～10年12月17日		東経	137°11'44.1"	
調査業者名	主任技師		現場人	コ ア 鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	H= 21.57m	角	180°上 90°下 0°	方	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種
総掘進長	14.20m	度		向		試錐機	カノーKR-100	ハンマー落下用具
						エンジン	ヤンマーNPD-8	ポンプ
								コーンブリー法
								カノーV-6

標尺	深 度	土 質	色 相	相 対 密 度	記 事	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		掘進月日
						深 度	10cm 打撃回数	N 値	打撃回数/貫入量	深 度	試験名	深 度	採取方法	
(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	0 10 20	—	(cm)	(m)	および結果	(m)	番号	(日)
1	20.12	1.15	1.15		盛土	1.15	1	1	1					
	19.82	0.60	1.15		砂質シルト	1.47	1	1	2					
2	19.32	0.50	2.25		砂質シルト	2.15	1	1	2					
	19.02	0.45	2.40		砂質シルト	2.51	1	1	2					
	18.82	0.25	2.15		砂質シルト	3.15	8	9	10					
3	17.17	1.05	3.80		砂質シルト	3.43	4	6	7					
					砂質シルト	4.15	4	6	7					
					砂質シルト	4.43	6	6	8					
					砂質シルト	5.15	6	10	12					
					砂質シルト	5.43	6	9	12					
					砂質シルト	6.15	6	10	12					
					砂質シルト	6.43	6	9	12					
					砂質シルト	7.15	6	9	12					
					砂質シルト	7.43	7	9	13					
					砂質シルト	8.15	12	14	17					
					砂質シルト	9.15	10	12	16					
					砂質シルト	10.15	29	31	38					
					砂質シルト	10.43	60	6	60					
					砂質シルト	11.15	60	5	60					
					砂質シルト	11.43	60	5	60					
					砂質シルト	12.00	60	5	60					
					砂質シルト	12.06	60	5	60					
					砂質シルト	13.00	60	5	60					
					砂質シルト	13.05	60	5	60					
					砂質シルト	14.18	60	5	60					
					砂質シルト	14.20	60	5	60					

ボーリング柱状図

調査名 男川原水調整池基本設計業務

ボーリングNo. 27-12-12NT

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	NO. 2	調査位置	愛知県岡崎市大平町 地内	北緯	34°55'52.8"
発注機関	岡崎市水道局	調査期間	平成10年12月21日～10年12月22日	東経	137°11'38.4"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者
ボーリング責任者					
孔口標高	H=20.68m	角	180°上 90° 0°下	方	北 0° 90°東 180°西 270°南
総掘進長	8.25m	度	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 カノーKR-100 エンジン ヤンマーNFD-8
				ハンマー落下用具	ポンプ
					コーンブリー法 カノーV-6

標尺	標高	層厚	深度	柱状	土質	色	相対	相対	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試験採取		室内試験 ()	掘進 月日
											深 (m)	10cm 打撃回数	この 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深 (m)	試験名 および結果	深 (m)	試験 番号		
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事											
	20.35	0.35	0.35		農耕土	暗灰			砂質シルト主体	32/21 3.50 幸										
1					玉石混り砂礫		緩い	非常に密な	礫は、φ=2~30mm程度の断面~亜角礫主体 マトリックスは砂主体 φ=100mm程度の玉石混在 1.5m以下、礫少ない 崩壊性高い		1.15	3	3	3	9	9				
2						灰					1.45									
											2.15	26	14	14	54	54	2.15	2	①	12/21
3											2.45						2.45			
											3.15	8	26	10	44	44				
4										3.45										
										4.15	9	26	16	51	51					
5										4.45										
	15.18	5.13	5.50							5.15	12	12	16	40	40					
6					砂礫	灰	中位		礫は、φ=2~30mm程度の断面~亜角礫主体 マトリックスは砂主体 崩壊性高い 風化作用著しく、砂状を呈する 上部は、風化作用著しく、砂状を呈する 下部は、L=5~10cm程度の棒状コアにて採取試料される		5.45									
	13.58	1.30	6.80								6.15	12	3	3	28	28				
7					風化花崗岩	暗灰					6.45	60								
	13.55	0.35	7.15								7.15	4								
											7.15									
8										8.25	貫入不能									
	12.45	1.10	8.25							8.25										

ボーリング柱状図

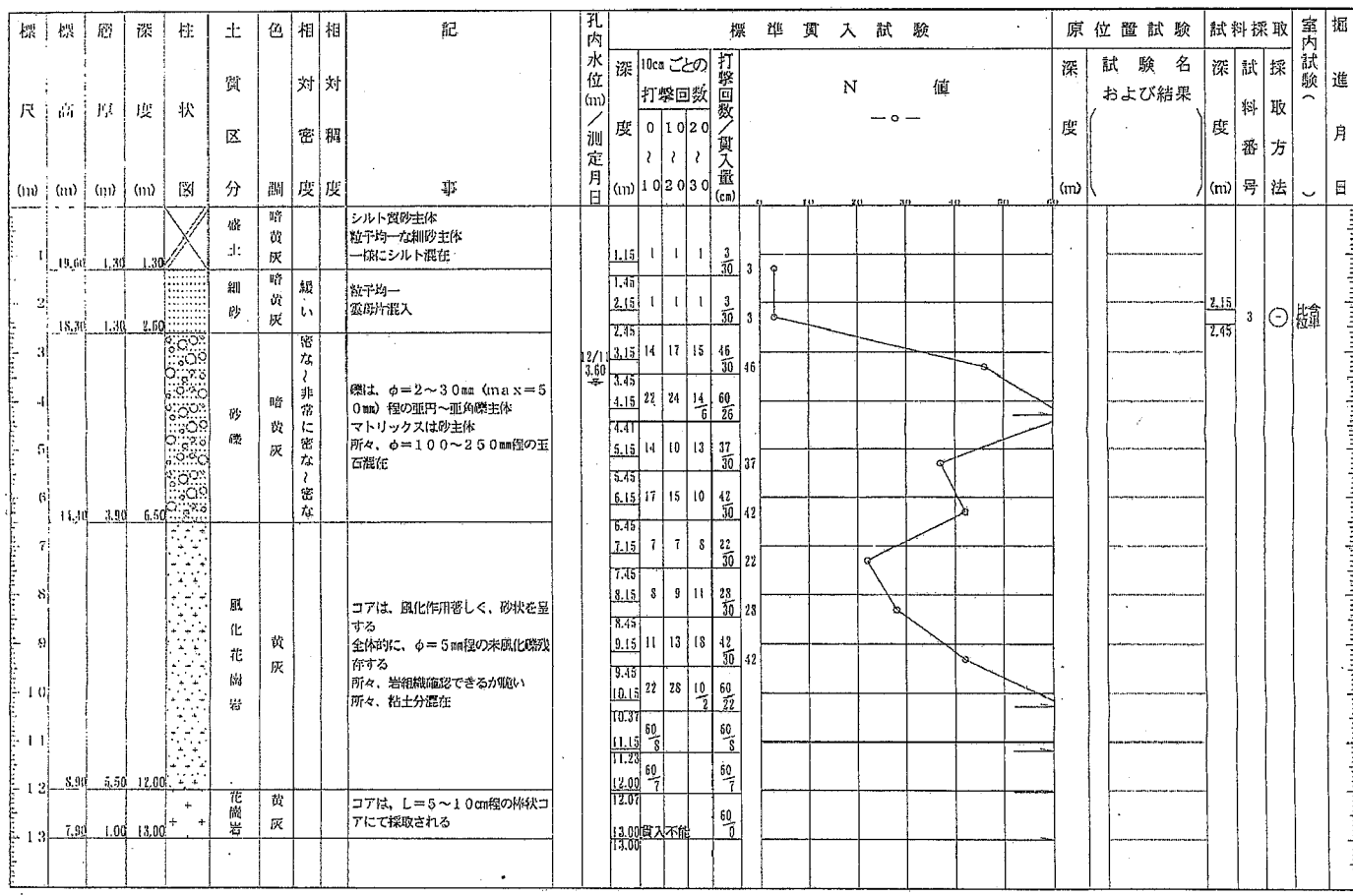
調査名 男川原水調査池基本設計業務

ボーリングNo.	27-12-12NT
----------	------------

調査業・工事名

シートNo.

ボーリング名	N () . 3	調査位置	愛知県岡崎市大平町 地内	北 緯	34° 55' 55.6"
発注機関	岡崎市水道局	調査期間	平成10年12月11日～10年12月14日	東 経	137° 11' 38.4"
調査業者名		主任技師		現 場 代 理 人	コ ア 鑑 定 者
ボーリング責任者					
孔口標高	H=20.90m	角 度	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	13.00m	地盤勾配	約 19°	使用機種	試 錐 機 エンジン
					カノーKR-100 ヤンマーNFD-8
					ハンマー 落下用具 ポンプ
					コーンブーリー法 カノーV-6



添付資料 4

ボーリング柱状図

調査名 男川原水調整池基本設計業務

ボーリングNo. 27-12-12NT

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	N O . 4	調査位置	愛知県岡崎市大平町 地内	北 緯	34°55'59.1"
発注機関	岡崎市水道局	調査期間	平成10年12月 8日～ 年 月 日	東 経	137°11'37.3"
調査業者名		主任技師		現 場 代 理 人	コ ア 鑑 定 者
孔 口 標 高	B=21.25m	角 度	180°上 90° 0°下	方 向	北 0° 90°東 180°南 270°西
総掘進長	9.00m	地盤勾配	30°	使用機種	試 錐 機 カノーKR-100 エンジン ヤンマーNFD-8
					ハンマー落下用具 コーンブリー法 ポンプ カノーV-6

記 事									標準貫入試験				原位置試験		試験採取		室内試験	
標 尺	層 高	厚 度	深 度	柱 状 図	土 質 区 分	色 相 対 密 度	相 対 密 度	事 実	深 度 (m)	10cm ごと の 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試 験 名 および結果	深 度 (m)	試 料 採 取 方 法	掘 進 月 日	
(m)	(m)	(m)	(m)						(m)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30								
1	20.24	1.05	1.05		盛土	暗黄灰		シルト質砂主体 砂中にシルト混在 上部、φ=5~30mm程度の隙間～並角礫混在	1.15	1	1	3	3					
2					シルト混り砂	暗黄灰	非常に緩い	粒子均一 一様にシルト混在 露母片混入	1.45	3	2	7	7					
3	18.24	1.95	3.00		砂礫	暗黄灰	非常に緩い	礫は、φ=2~30mm程度の隙間～並角礫主体 マトリックスは砂主体 所々、風化礫混在 3.5m付近、木片混入	2.15	3	2	7	3					
4					風化花崗岩	黄茶灰		コアは、風化作用著しく、砂状を呈する 全体的に、φ=5mm以下の未風化礫残存する 所々、粘土分混在	2.45	2	1	3	3					
5	16.64	1.60	4.60		花崗岩質灰			コアは、φ=5cm程度の短柱状コアにて採取される	3.15	2	1	3	3					
6									3.45	20	15	5	41					
7									4.15	15	10	10	41					
8									4.45	9	11	13	33					
9	12.54	1.10	8.70						5.15	4	5	6	15					
10	12.24	0.30	9.00						5.45	7	8	17	32					
									6.15	7	6	15	32					
									6.45	7	6	15	32					
									7.15	7	6	15	32					
									7.45	7	6	15	32					
									8.15	7	6	15	32					
									8.45	7	6	15	32					
									9.00	貫入不能								

添付資料 4

ボーリング柱状図

調査名 男川原水調整池基本設計業務

事業・工事名

ボーリングNo. 27-12-12

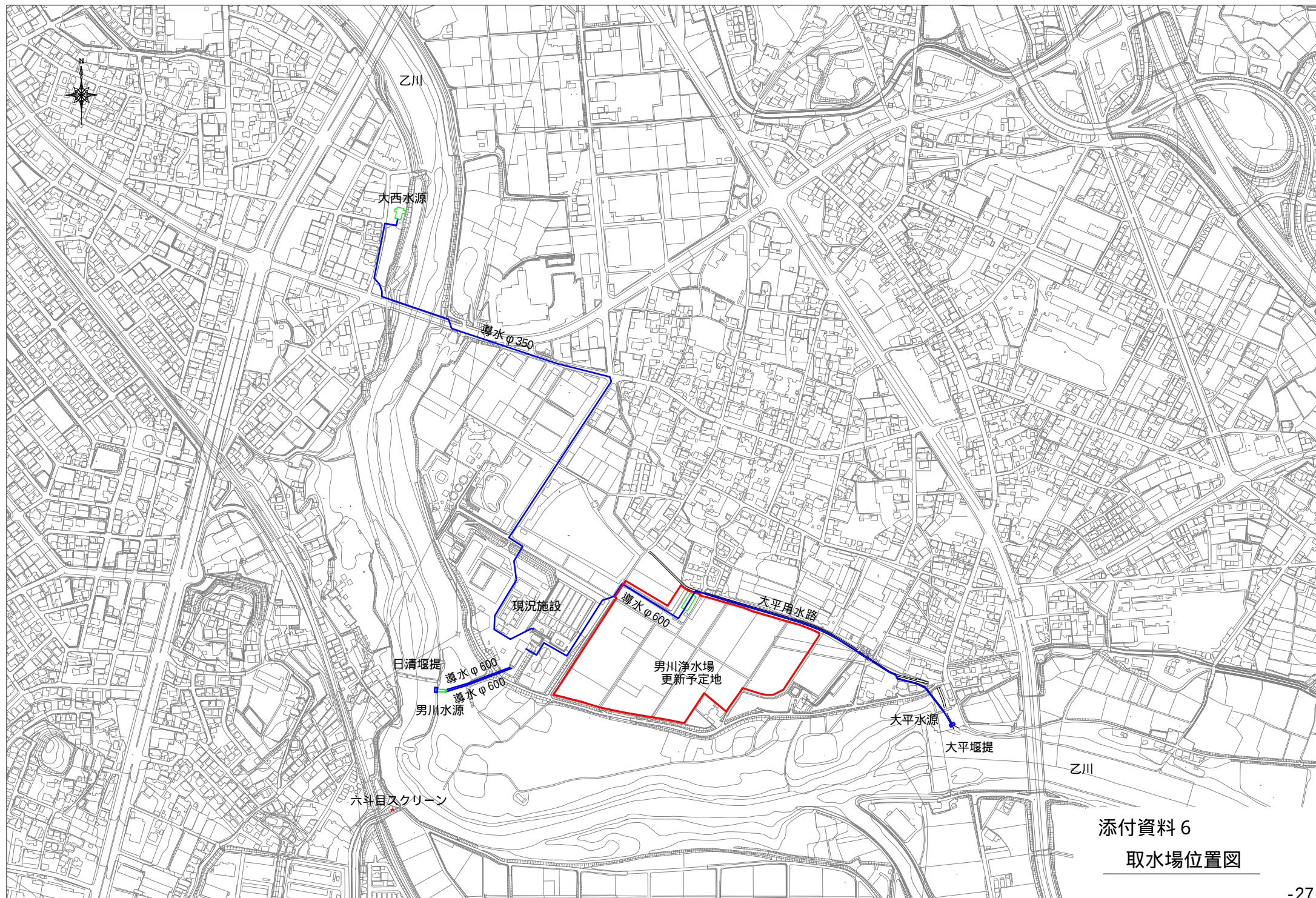
ボーリング名	N O . 5	調査位置	愛知県岡崎市大平町 地内	北 緯	34° 55' 53.5"
発注機関	岡崎市水道局	調査期間	平成10年12月10日～10年12月11日	東 経	137° 11' 31.0"
調査業者名	主任技師	現場代理人	コ ン 定 者	ボーリング責任者	
孔口標高	H= 21.01m	角	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南
総掘進長	9.90m	地盤勾配	水平0°	使用機種	試錐機 カノーKR-100 エンジン ヤンマーNFD-8
				ハンマー落下用具	コーンブリー法 ポンプ カノーV-6

標 尺	標 高	層 厚	深 度	柱 状 図	土 質 区 分	色 相 対 調 度	相 対 密 度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験	原位置試験	試料採取	室内試験	掘 進 月 日				
(m)	(m)	(m)	(m)							深 度 (m)	10cm ごと の 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深 度 (m)	試 験 名 および結果	深 度 (m)	試 料 採 取 方 法	室 内 試 験 ()	掘 進 月 日
1	19.66	1.35	1.35		盛土	暗黄灰		シルト質砂主体 砂は粒子均一 一様にシルト混在 雲母片混入	27/11 3.30	1.15 1 1 9 11 1.45 20 40 60 2.15 2 4 14 2.29								12/10
2					砂	暗黄灰	非常に密なと中位と非常に密な	礫は、φ=2~30mm (m.o.x=50mm) 程度の面角鋭主体マトリックスは砂主体所々、φ=100~200mm程度の玉石混在崩壊性高い透水性有り		3.15 18 20 21 59 3.45 24 26 10 60 4.15 2 2 22 4.37								
3										5.15 17 14 13 44 5.45 8 10 10 28 6.15 30 30 28 6.45 20 20 10 60 7.15 1 1 24								
4										7.39 10 9 10 29 8.15 10 11 39 60 9.15 5 25								
5					風化花崗岩	黄灰		コアは、風化作用著しく、砂状を呈する全体的に、φ=5mm以下の未風化礫残存する所々、粘土分混在										
6					花崗岩	黄灰		コアは、φ=3~5cm程度の短柱状コアにて採取される(前記により、岩を0.5m確認し、採取)										
7	11.61	1.70	9.40															
8	11.11	0.50	9.90															
9																		
10																		

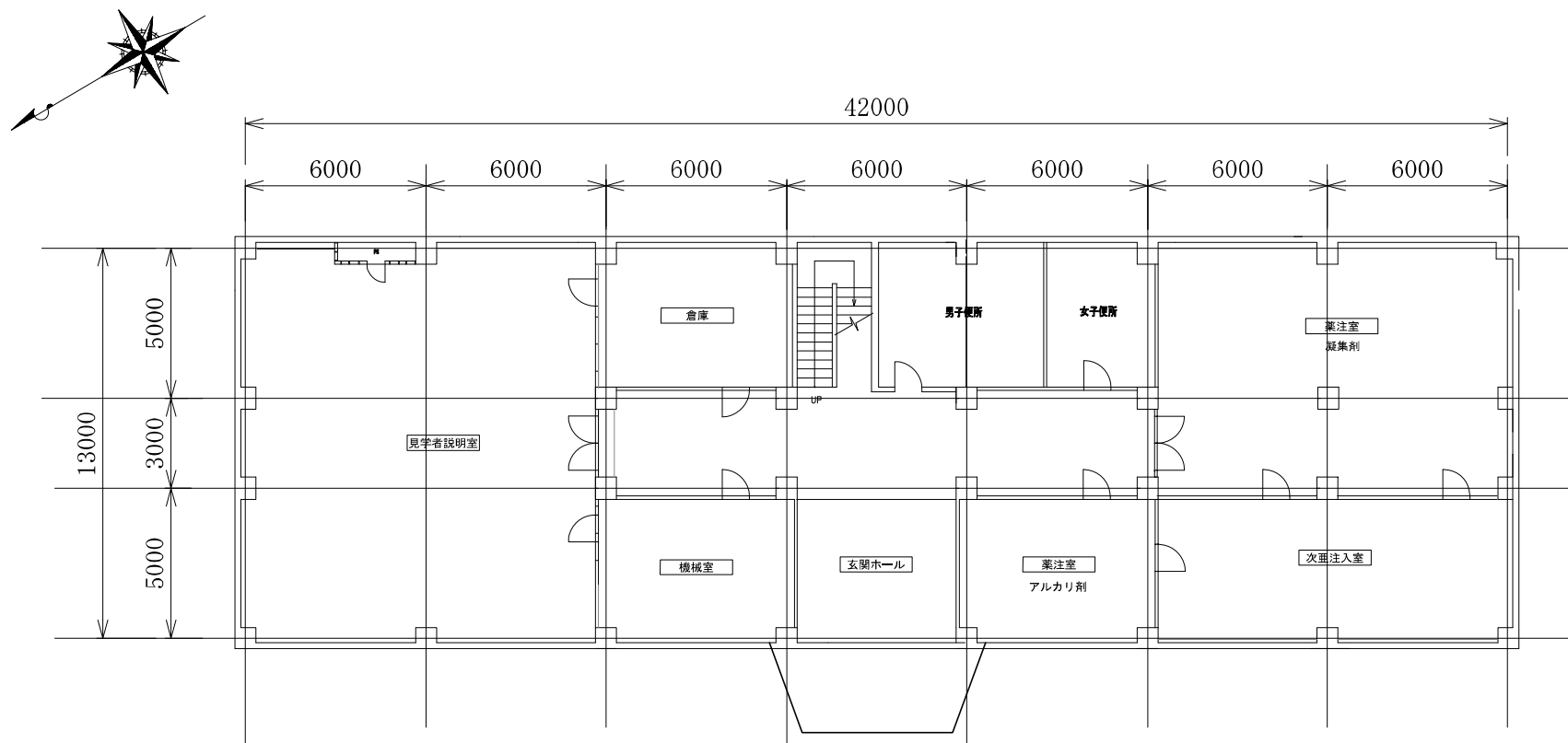
添付資料 5

男川浄水場負荷集計表

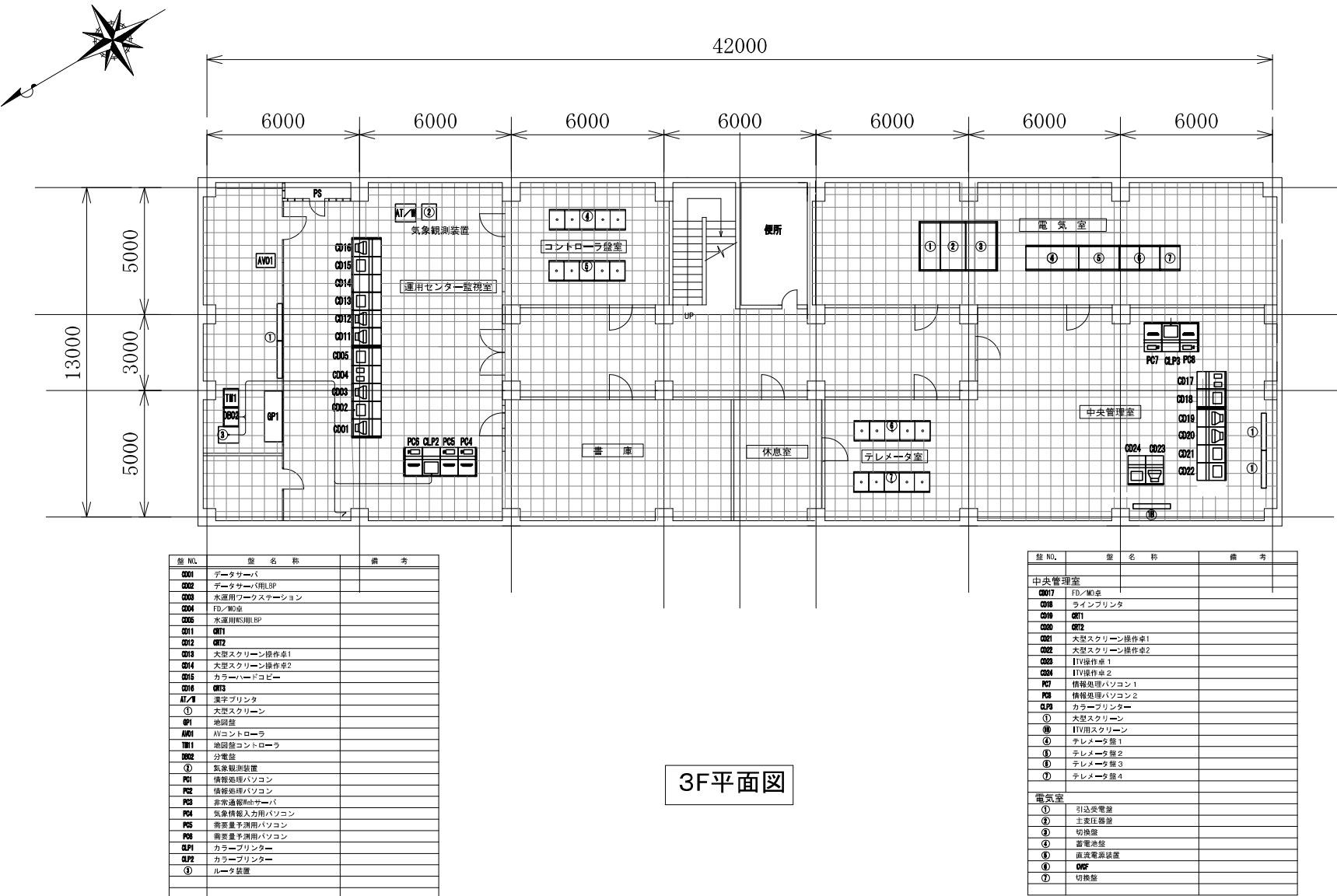
設備名称	負荷名称	電圧	単機容量	買電対象負荷								自家発電対象負荷		備	考
				既設				将来							
				常用		予備		常用		予備					
				台数	容量	台数	容量	台数	容量	台数	容量	台数	容量		
送水ポンプ(大西・根石)		6.6K	132	5	660	1	132	3	396	1	132	3	316.8	0.8	
送水ポンプ(根石)		6.6K						2	180	1	90	2	144.0	0.8	
送水ポンプ(本宿→美合)		6.6K	132	1	132	1	132	1	280	1	280	1	224.0	0.8	
導水ポンプ		6.6K	90	3	270	1	90	3	270	1	90		270.0	1.0	
動力付属盤		210			11.95								6.0	0.5	
緩速攪拌機主幹盤		210	0.75	6	4.5			4	6				4.8	0.8	
緩速攪拌機盤		210	21.15	4	84.6								42.3	0.5	
採水ポンプ盤		210	0.4	2	0.8								0.24	0.3	
動力低圧盤	真空ポンプ、沈殿池排水ポンプ	210			35.15								17.6	0.5	
ろ過池操作盤		210			20								4.0	0.2	
クラリファイヤー制御盤		210			15.4								4.6	0.3	
薬品注入機盤		210			6.26								3.1	0.5	
送水ポンプ操作盤		210			4.95								1.5	0.3	
空気圧縮機盤		210	7.5	1	7.5								3.8	0.5	
除塵機盤		210			6.75								3.4	0.5	
フロック形成池盤	排泥ポンプ	210			105.75								42.3	0.4	
その他	水中ポンプ等	210			176.45								70.6	0.4	
整流器盤		210			10								4.0	0.4	
電灯主幹盤		105			30								9.0	0.3	
照明用低圧盤		105			75								22.5	0.3	
排水池返送ポンプ		210		2	44	1	22						22.0	0.5	
排泥池引抜ポンプ他		210		1	2.2	1	2.2						1.1	0.5	
濃縮槽引抜ポンプ等		210		1	3.7	1	3.7						1.9	0.5	
脱水施設		210							66.2				33.1	0.5	
													1252.5		



添付資料 6
取水場位置図



1F平面図



添付資料 8

項 目	名 称	室面積 (㎡)	人 数	使用目的	その他特記事項 ※ロッカーの長さ、人数は目安を示す。
操作管理域	中央管理室	126	6人	・各施設の監視業務	・計装機器を収容する十分なスペース ・ケーブルが集中するための対策（フリーアクセス） ・機器の搬入搬出口
	上水運用センター（将来設置予定）	186	7人	・岡崎市内の配水コントロール	・ケーブルが集中するための対策（フリーアクセス）
	電子計算機室	126			・計装機器を収容する十分なスペース ・ケーブルが集中するための対策（フリーアクセス） ・機器の搬入搬出口
	水質計器室			・水質検査に関する計器設置	
水質管理域	水質試験室（将来設置予定）	156	5人	・水質検査	・床は防水耐薬品仕様とすること ・床洗浄を行うことがあるため、水勾配の確保
事務管理域	事務室	120	13人	・浄水課の執務スペース	・事務机、椅子（13個）既設使用品同等以上とする ・書類保管用ロッカー（6m） ・6人用打合せスペース（職員用）
	会議室	30		・各種会議	・長机（10個）、パイプ椅子（30個）
	見学者説明室	156		・見学者説明	・長机（20個）、パイプ椅子（100個）、50インチ大型モニター（1台）
電気・機械管理域	電気室	90			・二酸化炭素による消火を行えるよう、完全な締切ができるようにすること。 ・適切な湿度が保てるよう、十分な空調設備を設置すること。
	自家発電室	別棟			
	空調室（機械室）	30			
	ポンプ室	別棟			
薬注管理域	次亜塩素酸ナトリウム貯蔵室	60		・薬品貯蔵	・床は防水耐薬品仕様 ・床洗浄を行うことがあるため、水勾配の確保 ・薬品保管棚は耐薬品、地震等考慮し木製造りつけ等とする。 ・台車による搬入・搬出が可能な出入り口とする。 ・出入り口は施錠可能とすること
	ポリ塩化アルミニウム貯蔵室	96		・同上	・同上
	苛性ソーダ貯蔵室	30		・同上	・同上
保安全管理域	書庫・倉庫	75		・浄水課の資料保管	・移動式書棚（25m） ・施錠できること
厚生域	休憩室	15		・職員休憩用	・和室とし、押入れを設置すること ・寝具（4セット） ・テレビ（1台） ・ローテーブル（1個）
	食堂	48			・テーブル（1個）、椅子（6個）
	給湯室	15			・給湯器（1台）、ガスコンロ（1台）、造りつけ収納を設置すること。
	洗面室				・洗面台（1台）
	便所	90			・男子用は大便器（2個）、小便器（3個）、流し（2個） ・女子用は大便器（3個）、流し（2個） ・人感センサー設置 ・各フロアに男子用、女子用を設置すること
	洗濯室	30			
	シャワールーム	15			
	更衣室	15			・更衣室用ロッカー（31個）
その他	玄関ホール	30			・下駄箱（100個）スリッパ（100個）
	廊下	180			・消火器を設置すること
	階段室	45			
計		1,764	31人		